

香川テニストレーニングセンターの設置について

1企画の目的

国体テニス競技総合優勝を目標とし、これを実現するために長期的に、また計画的に選手を育成・強化する一環指導の環境が必要であり、香川県テニス協会にて、香川テニストレーニングセンター(以下「香川TTC」という。)を設置し、テニス競技力強化事業を推進する。



2企画の概要

(1) トップ選手の育成・強化

従来、県内においては頭角を表わしてきた有望選手を強化するという考え方が一般的となっているが、今後は素材のある選手の発掘から計画的に育てることが必要である。

長期的に、計画的・系統的に選手を育成するためには、長期的選手育成・強化のシステムが必要となり、10年間のプロセスにてジュニアの発育・発達段階に応じたトレーニングプログラムを与えるための一環指導の環境が、トップ選手の育成・強化においてもっとも重要である。

また、香川TTCは、16歳以下のジュニアが主な対象者となるが、一環指導体制を確立し、地元の高校及び大学と連携し、有望選手が県内の高校及び大学に進学し、地元に残り活躍するような育成環境のシステムが整うことにより、成果目標は達成できると考える。

(2) 選手育成・強化のための環境

トップ選手の育成・強化に必要な環境資源として、①施設・設備面②指導者人材面③財源確保の3つの要素があるが、実施内容の概略は次のとおり。

① 施設・設備面

香川県総合運動公園テニス場他

② 指導者人材面

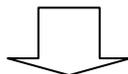
普及・強化委員会の指導者により対応するが、香川TTCのしくみを確立するためメインスタッフは指導力及び実績のある指導者を選任する。

③ 源確保

収入財源として、当初はコート4～6面のため、人数は40名～60名の定員にて実施予定。月間の練習日数10日程度とし、1名の月額負担は1万円以内を想定する。

(月收入50万円、年間600万円程度)

支出として、コート使用料及び指導者の日当があるが、試算では概ね受講料の自主財源にて実施可能である。ただし、不足が生じた場合には、四国選手権余剰金より充当する。



3推進スケジュール

(1) 平成21年5月末 → 香川TTC設置のための関係機関との協議・調整並びに規程の整備
(長期の選手育成モデル・アウトライン作成)

(2) 平成21年8月1日 → 香川TTCスタート

《事前調整内容》

4 コート利用についての協議内容及び要望

- 平成21年5月2日 13:00(土) 北川大会運営委員長
企画概要及び趣旨説明をおこない、概ね了解を得る。

今後、推進するための条件整備要因の内容として

2009年4月末期限



体制整備要因、財務的要因、設備用具的要因は企画総務委員会(責任担当:角陸)が作成する。
大会運営委員会との協議。

(運営管理面)



2009年6月末期限

人的要因(指導内容のアウトライン)の作成は、ジュニア委員会が作成する。

2009年6月末期限



法制上の整備として、香川テニストレーニングセンター設置に関する規則を新設する。
常任理事会の専決承認後、8月1日スタート。